

研究実施のお知らせ

2024年8月22日 ver.1.1

研究課題名

慢性咳嗽に対するゲーファピキサントの有効性と安全性に関する検討

研究の対象となる方

2022年4月から2024年6月の間に島根大学医学部附属病院で慢性咳嗽に対してゲーファピキサント(商品名：リフヌア®)を投与された方。

研究の目的・意義

慢性咳嗽は、多くの患者さんにとって生活の質を著しく低下させる症状です。咳嗽の原因となる疾患に対する治療を行っても症状が持続する場合や、原因疾患が特定できない場合、鎮咳薬が有効な手段となります。従来から中枢性鎮咳薬（リン酸コデインなど）が用いられてきましたが、これらの薬剤は眠気やふらつきが生じやすく、咳という生体防御機構を抑制してしまうという課題がありました。

ゲーファピキサントは、従来の中枢性鎮咳薬とは異なる作用機序を持つ新しいタイプの鎮咳薬であり、その有用性が期待されています。しかし、味覚異常などの副作用から投与を継続できない方もいます。ゲーファピキサントが特にどのような患者に有効であるか、また、副作用がどのような患者で発現しやすいのかはまだ明確ではありません。これらの点を検討するため、研究を立案しました。

研究の方法

研究対象者の方の年齢、性別、咳嗽の原因となる疾患、咳嗽の持続期間等の背景と薬剤の有効性、味覚異常を含む副作用についてカルテ情報を用いて調べます。

この研究に関して、あなたの氏名、患者IDは削除された状態で、この研究のデータおよび関連する資料は、島根大学医学部内科学講座呼吸器・化学療法内科の研究責任者が保管します。

研究の期間

2024年9月26日～2026年3月

研究の公表

この研究から得られた結果は、医学関係の学会や医学雑誌などで公表します。その

際にあなたのお名前など個人を識別できる情報を使用することはありません。

研究組織

この研究は次の機関が行います。

研究責任者：

島根大学医学部内科学講座 呼吸器・臨床腫瘍学 片桐 崇将

情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2025年2月までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

島根大学医学部内科学講座 片桐 崇将

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2581 FAX 0853-20-2581